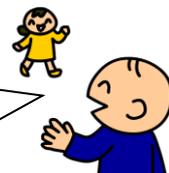


副籍交流の感想紹介

令和4年度末に副籍交流の感想アンケートを実施いたしました。いただいた御感想の中から、一部抜粋したものを御紹介します。今年度の交流内容を検討する際の参考にしてみてください。

小低 渋谷区

「特別支援の人々が自然とそばにいる」ということを体験として知ってくれて、この先社会で一緒に生きてくれたら心強いなと希望をもった交流でした。



小低 目黒区

この2年間交流を積み重ねてきたことで、お友達が本人を理解しようと話しかけてくれたり、あいさつをしてくれたりすることが増えてきてとても嬉しく思いました。交流先の先生方が本人の成長ぶりを感心してくださることもありがたかったです。



小低 港区

子ども同士の絆はいいものが生まれていると思うので、あとは何のために副籍交流をするのか、学校同士の連携が大切だと思います。

小低 千代田区

交流に行く前に、まず出前授業をして頂いてから交流に行った方が不安等なく、よりスムーズにいったのかな？と感じます。普段温かい環境にいるため、現実社会は厳しいなと久々に肌で感じました。

小高 渋谷区

6年生になると会話が難しく、長い時間参加することは難しかった（本人にとっても頑張らなければならない時間になってしまいました）ですが、本人にとって社会を知る機会になりました。交流をする際に思ったことは、関わる先生方の関わり方がクラスにいる子たちに影響していると感じます。今年は積極的に声をかけて下さり、本人ができそうな活動を考えて下さり、本当にありがたく思います。



小高 目黒区

街中で声をかけて下さる児童もいて非常にありがたい反面、本人が声をかけた時に笑われてしまうという時もあります。子ども同士のことなのである程度仕方ないと思いつつも、副籍という貴重な場で本人が必要以上に傷つかない方法はないかと悩ましいところです。



中学部 港区

久しぶりに友だちに会えてうれしかったです。大きくなって交流のやり方に迷いますが、時々会えて“いるんだな”と確認できるとよいのかなと思います。

中学部 千代田区

副籍校は楽しく来てくれることを第一に考えて下さり、無理をせずに参加させていただけてとてもありがたかったです。本人に合わせて臨機応変に道具を用意して下さったり、無理なく参加できるよう対応して下さいました。

副籍交流の活動事例紹介

R4年度に本校と港区の小学校が行った、副籍交流の直接交流の活動事例を御紹介します。

〈交流内容〉

○1 学期：挨拶訪問にて交流内容の打合せ

（参加者：本校教員・保護者・本人・小学校校長・小学校教員）

学校便り・学年便りの交換

交流先の小学校の朝の会にて自己紹介

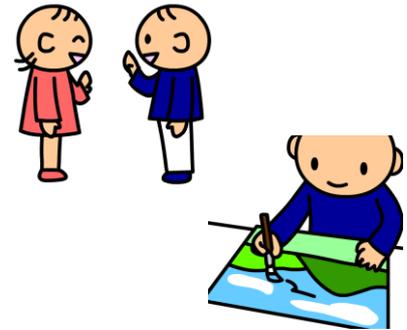
○2 学期：学校便り・学年便りの交換

図工の授業に参加（ランプシェードの制作）

○3 学期：学校便り・学年便りの交換

図工の授業に参加（版画の制作）

朝の会にてお別れの挨拶



〈交流後の保護者の感想〉

○自己紹介について

朝の会では、少し時間をいただいて、本人が自己紹介の紙を読んだ後に、折り紙で作ったコラージュを見てもらいました。みんなから拍手をもらい、本人も嬉しそうにしていました。母が、本人の好きなことや苦手な音などについて詳しく説明すると、子供たちは優しく接してくれました。

○図工の授業について

小学校の授業で使っている風船や糊や紙などの材料を使って作品をつくることができ、有難かったです。本人も紙を切ったり、風船に糊で貼ったりして楽しそうでした。子供たちが「来てくれて、ありがとう！」と言って、小さい工作を作って見せてくれて、とても優しくしてくれました。



○お別れの挨拶について

クラスの子供たちの前に立って、本人が「ありがとうございました。とても楽しかった」と伝えることができよかったです。前日に母と一緒にお礼のカードを作って、担任の先生に渡すこともできました。時間は短かったですが、直接お礼が言えてよかったです。来年も図工の時間に参加したいと思います。